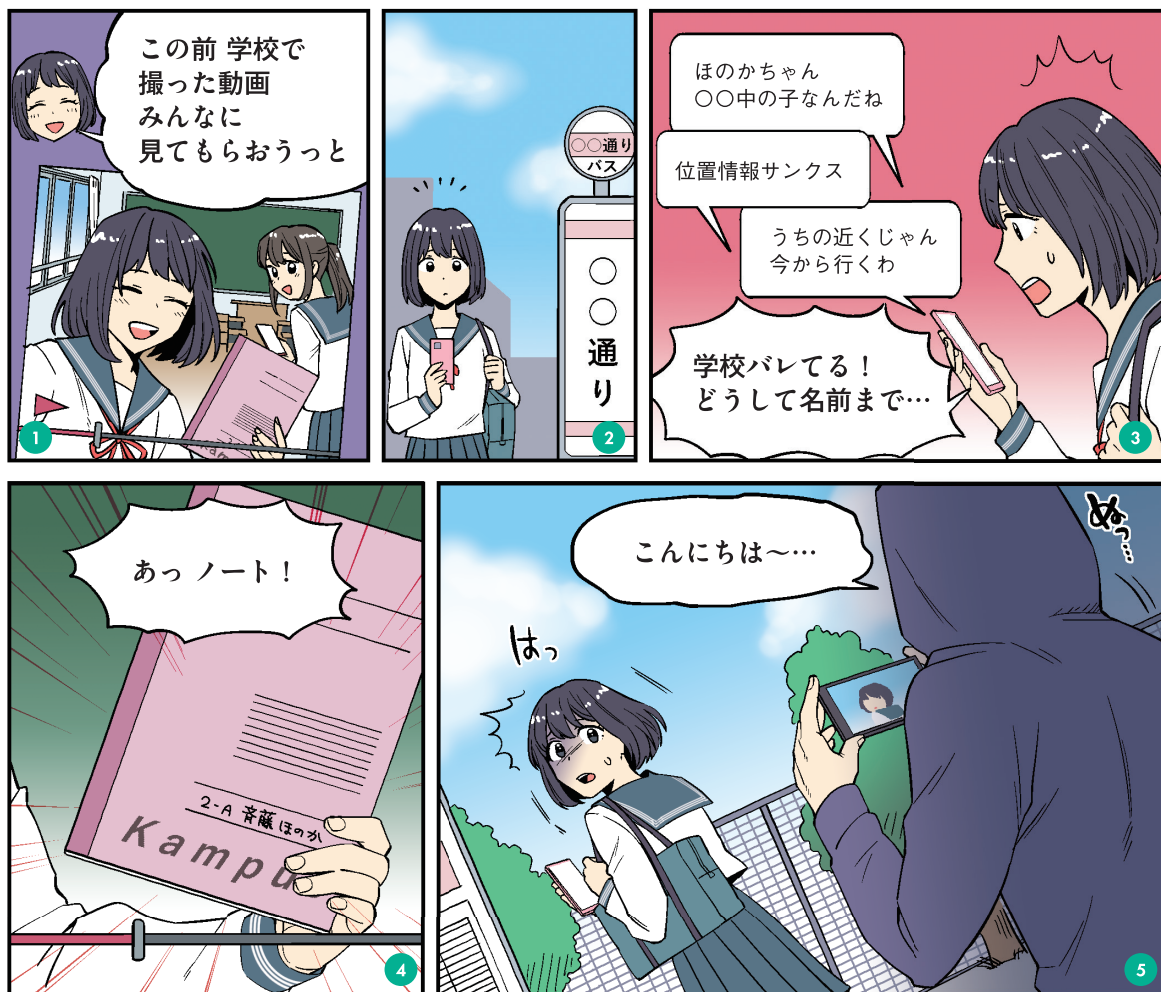


わ！ 特定されたっ！



誰でも見ることができることを忘れずに！

SNSの投稿を見ているのは友だちだけとは限りません。瞳に映った景色、背景の角度や見え方などを分析し、スマホで誰でも簡単に撮影場所を特定できるようになりました。また、中学校の卒業生や昔の同級生がSNSを使いストーカー化する事例もあります。

では鍵付きのアカウントなら大丈夫かといえば、そうではありません。スマホのパスワードを突破してスクリーンショットで拡散したり、友だちのアカウントから閲覧したりと、特定や拡散の手口は巧妙化しています。制服や地名・学校名・名前などが分かるものが映った画像を投稿しない、位置情報を付けないことはもちろんですが、他人の手によって、いつ、誰に、どこまで流出されるか分からないというリスクを常に意識しましょう。自分の画像が「拾い画サイト(※)」に載ることを考えると、気味が悪いですね。

キーワードから特定の投稿を探せるハッシュタグも、便利な反面危険な機能です。とくに学生を狙った犯罪や、誹謗中傷などの人権侵害から身を守るため、無防備な状態で使わないことをおすすめします。

※インターネット上にアップされている他人の写真などを、無断転載しているサイトのこと

